

下関市立大学におけるアセスメントポリシー

1. 学修成果の評価の目的

下関市立大学は、学生が身に付けた能力、学修成果の測定の目的を次のように定める。

- (1) 学生が学士課程において身に付けた能力を表示・測定することによって、卒業を認定した学生の学士力について社会に対する説明責任を果たす。
- (2) 学修成果を表示・測定することによって、教育の方法や制度、取り組みについて点検・評価を行い、教育の改善・改革に取り組むP D C Aサイクルを回す手立てとする。

2. レベルごとの学修成果の評価

下関市立大学では、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーの3つの方針にもとづき、機関レベル、学部・学位レベル、科目レベルの3つのレベルについて、別表に掲げる方法を用いて、教育成果を測定・評価する。測定・評価結果に基づき、本学の内部質保証制度の運用を通して、教育改善を行っていく。

3. 達成すべき質的水準

- (1) 授業科目の成績評価については、「下関市立大学におけるG P A制度の取扱いに関する要綱」に定められた評価基準によるものとし、授業科目について達成すべき質的水準を評定の可（G Pの1）以上とする。
- (2) 授業科目の成績評価の各評定と「下関市立大学におけるG P A制度の取扱いに関する要綱」に定められた評価基準との対応関係を以下のとおり定める。

評定・点数・評価基準・G Pの対応関係

評定	点数 (100点満点)	評価基準			G P (科目評点)
		到達目標	成績	判定	
秀	90～100	ほぼ完全に達成	極めて優秀	合格	4
優	80～89	十分に達成	優秀		3
良	70～79	概ね達成	良好		2
可	60～69	最低限達成	最低限合格可		1
不可	59点以下	達成していない	合格不可	不合格	0

各ポリシーの検証方法

	AP (入学時)	CP (在学中)	DP (卒業時)
機関レベル	<ul style="list-style-type: none"> 入学試験結果 	<ul style="list-style-type: none"> 成績評価 (GPA) 単位取得状況 退学率・休学率 外部検定試験 (語学) キャリア教育科目受講実績 派遣留学・海外研修・国際インターンシップ参加実績 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業要件達成状況 成績評価 (GPA) 就職状況・就職率
	<ul style="list-style-type: none"> 入学時アンケート IRアンケート 	<ul style="list-style-type: none"> アカデミックリテラシー受講者アンケート 基礎演習・教養演習担当者アンケート IRアンケート 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業予定者アンケート 学生就職先調査
学部・学位レベル	<ul style="list-style-type: none"> 入学試験結果 	<ul style="list-style-type: none"> 単位取得状況 成績評価 (GPA) 退学率・休学率 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業要件達成状況 成績評価 (GPA) 就職状況・就職率 卒業論文
	<ul style="list-style-type: none"> 入学時アンケート IRアンケート 	<ul style="list-style-type: none"> IRアンケート 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業予定者アンケート 学生就職先調査
科目レベル		<ul style="list-style-type: none"> 単位取得状況・成績分布 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 授業評価アンケート 	